講義名	教育課程論【教職科目】			授業形態	
担当教員	田邉　良祐	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 ２時限		
		単位数	2	履修開始年次	２年生	ナンバリング・コード	TTC222

主題と概要

本授業では、学校教育において、教育活動全体の計画たるカリキュラムや教育課程に関する歴史、理論及び実践に触れながら、教員として教育課程の編成に関する最低限必要な知識の獲得、及び実際のカリキュラム・教育課程の編成ができることを目的とする。
「カリキュラム・教育課程の編成ができる」ことを評価するため、「設置が許可される中等教育段階の『学校』を創る」というPBLを行い、成果物及びプロジェクトの成果発表により評価を行う。
具体的には以下の目標達成を目指す。

到達目標

目標１　カリキュラムと教育課程の違いについて、理論等を引用しながら論理的かつ具体的に説明することができる。
目標２　学校におけるカリキュラムまたは教育課程の編成に関する法令及び制度（現行学習指導要領及びその歴史や変遷含む）について具体的に説明することができる。
目標３　法令及び制度を踏まえ、カリキュラムまたは教育課程を編成することができる。
目標４　カリキュラムの類型を理論的に説明することができる。

提出課題

毎授業の記録と指示した課題を記述したポートフォリオを提出する。
授業内4回ある「演習・反転授業」で成果物を作成し提出する。
提示したプロジェクトの最終成果物を提出する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

ポートフォリオを往還、提出物の返却を通して、疑問等について個別に回答する。
授業中質問は適宜受け付ける。

評価の基準

10回以上出席し、かつ以下に示す項目の評価の合計が60点以上のものに単位を認定する。
・ポートフォリオ60%　（4点×15回）
・「演習・反転授業」での成果物　20%（5点×4回）
・最終成果物　20%

履修にあたっての注意・助言他

2年次を履修年次とし、後期に開講するする本授業は、開講までに履修すべき授業の内容については既知のものとして取り扱う。
教員免許状取得必修科目。

教科書

参考図書

その他

予習に関連する文献、論文、記事、サイトを適宜示す。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

○	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）		ウ：ディスカッション、ディベート
	エ：グループワーク		オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）				

備考	本授業は教員免許状取得のための必修科目である。 本授業は、対面とオンデマンドのハイブリッドで実施する。受講者には必ず発表をしてもらう。受講者数によって発表内容や発表日の調整が必要となるため、予想より多い・少ない受講者の場合、初回の授業において改めて授業計画を示し、シラバスを提示する。

授業計画

第1回：授業の進め方とプロジェクトのガイダンス、「教育課程」（カリキュラム）の射程
【予習】シラバスを熟読し、カリキュラムと教育課程の違いについて文献等を探し整理する（2時間）
【復習】授業を振り返りポートフォリオをFIT（Fact、Insight、Try）の観点で作成する（2時間）

第2回：【講義】「学校」に関する諸制度と法（どのような仕組みや制度で「学校」が成立しているのか？）
【予習】前時に示した参考文献等を読み、学校に関する諸制度と法についてカタログ化し整理する。（2時間）
【復習】授業を振り返りポートフォリオをFIT（Fact、Insight、Try）の観点で作成する（2時間）

第3回：【演習・反転授業】学校段階、学校教育目標、大まかな教育内容、学校の施設設備、教職員の配置等の検討
【予習】自分が卒業した中・高等学校の教育目標を調べ、その教育目標の達成度をどのように評価しているのか調べ整理する。（2時間）
【復習】授業を振り返りポートフォリオをFIT（Fact、Insight、Try）の観点で作成する（2時間）

第4回：事例研究：オランダのイエナプラン教育の実際
【予習】イエナプランについて2つ以上の文献を挙げ、引用部分を明確にして整理する。（2時間）
【復習】授業を振り返りポートフォリオをFIT（Fact、Insight、Try）の観点で作成する（2時間）

第5回：カリキュラム理論と歴史①：「人を計画的に育てるということをどのように考えてきたか？」
【予習】指示したカリキュラムの類型について文献を用いて整理し、引用部分を明確にしながら説明できるよう準備をする。（2時間）
【復習】授業を振り返りポートフォリオをFIT（Fact、Insight、Try）の観点で作成する（2時間）

第6回：【演習・反転授業】中心となるカリキュラム理論の設定と、成功事例・失敗事例の収集
【予習】国内外の学校教育の「成功例」「失敗例」について、自分で成功と失敗の線引き又は定義をして事例を収集する。（2時間）
【復習】授業を振り返りポートフォリオをFIT（Fact、Insight、Try）の観点で作成する（2時間）

第7回：事例研究：菊池省三の実践
【予習】「菊池省三」がこれまで行ってきた実践とその業績について整理する（2時間）
【復習】授業を振り返りポートフォリオをFIT（Fact、Insight、Try）の観点で作成する（2時間）

第8回：【講義】学習指導要領の位置と現行の内容・特徴（社会に開かれた教育課程、カリキュラム・マネジメント、資質・能力、指導と評価の一体化、個別最適な学び等）、学習指導要領の変遷
【予習】平成29・30年版の学習指導要領から、そのキーワードについて説明されている箇所を見つけ、整理する。（2時間）
【復習】授業を振り返りポートフォリオをFIT（Fact、Insight、Try）の観点で作成する（2時間）

第9回：【演習・反転授業】学年の教育内容と時間割の編成、教育内容実現に向けた必要な「資源」の整理と検討
【予習】具体的な教育内容を各学年ごとに整理し、大まかな時間割を作成する。（2時間）
【復習】授業を振り返りポートフォリオをFIT（Fact、Insight、Try）の観点で作成する（2時間）

第10回：事例研究：西成高校における反貧困学習の実際」
【予習】大阪府立西成高校における「反貧困学習」についてその特徴と、実践にあたってのキーマン及びその業績を整理する（2時間）
【復習】授業を振り返りポートフォリオをFIT（Fact、Insight、Try）の観点で作成する（2時間）

第11回：【講義】カリキュラム・教育課程編成に関わる諸課題（インクルーシブ、共生教育、不登校、外国にルーツを持つ児童生徒等）への対応
【予習】学校教育が抱える様々な教育課題を20挙げる。そのうち5つを選択し、カリキュラム・教育課程の編成によってどのように解決するかそのアイディアを整理する（2時間）
【復習】授業を振り返りポートフォリオをFIT（Fact、Insight、Try）の観点で作成する（2時間）

第12回：【演習・反転授業】カリキュラム・教育課程編成に関わる諸課題に対応したカリキュラム・教育課程の編成
【予習】今日の学校教育の諸課題に対応したカリキュラムを編成する学校を探し、どのような実践がおこなわれているのか具体的に整理する。（2時間）
【復習】授業を振り返りポートフォリオをFIT（Fact、Insight、Try）の観点で作成する（2時間）

【第13回：最終成果物の作成
【予習】これまで行ってきた学びを整理し、最終成果物にまとめることができるよう準備をする（2時間）
【復習】授業を振り返りポートフォリオをFIT（Fact、Insight、Try）の観点で作成する（2時間）

第14回：成果発表の準備と学生相互のピアレビューによる改善
【予習】成果発表に使用する資料を準備する（2時間）
【復習】授業を振り返りポートフォリオをFIT（Fact、Insight、Try）の観点で作成する（2時間）

第15回：授業のまとめ、到達度確認テスト
【予習】最終成果の発表会に向けた原稿の準備、ピアレビューを踏まえた発表資料の改善を行う（2時間）
【復習】授業を振り返りポートフォリオをFIT（Fact、Insight、Try）の観点で作成する（2時間）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

商学部では共通して「マーケティング、ブランド戦略、小売業界、流通に関する問題探索、課題提案ができる」資質能力の育成を目指している。
高等学校商業科は「ビジネスで必要となる実践的な働く力を身に付ける」ことが目的である。そのような資質能力を生徒に育成する教員となるべく、「問題探索」「課題提案」を随時授業を通して行い、DPで示す資質能力の育成を目指す。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

ポートフォリオのやり取り、授業資料の配布はクラウドを通して行う。また、アイディアの整理のため生成AI（Co Pilot）を使用する。
ラップトップやタブレットを持っている学生は授業中持参することを推奨する。

実務経験の有無及び活用